

# 東京・大田のモノづくり学ぶ



日本生産性本部の招きで来日しているタイの政府機関幹部ら視察団22人が南武（東京都大田区、野村和史社長、03・3742・7377）を

## ——タイの視察団22人——

訪問した（写真）。視察団は金型用油圧シリンダーで高いシェアを誇る同社の製造現場を見学し、作業をカメラで撮影。意見交換も行った。

日本生産性本部は国際協力

### 南武を訪問

活動の一環として、アジア各国の政府機関、生産性関連機関からの視察団を受け入れている。3回目となった今回は「日本企業の経営戦略・生産性向上活動から学ぶ」と題し

て、日産自動車や医療施設に続き、南武を見学した。

同社は大田区が06年にタイ・バンコク郊外に開設した工場アパート「オオタ・テクノパーク」に入居しているため、意見交換も活発だった。野村社長は「中小企業が生き残っていくためには特許を取得しないといけない」とオンラインワン製品を持つ重要性を話した。また視察団からは「Sや、不況下における社員の待遇などについて質問が飛んでいた。」